

case

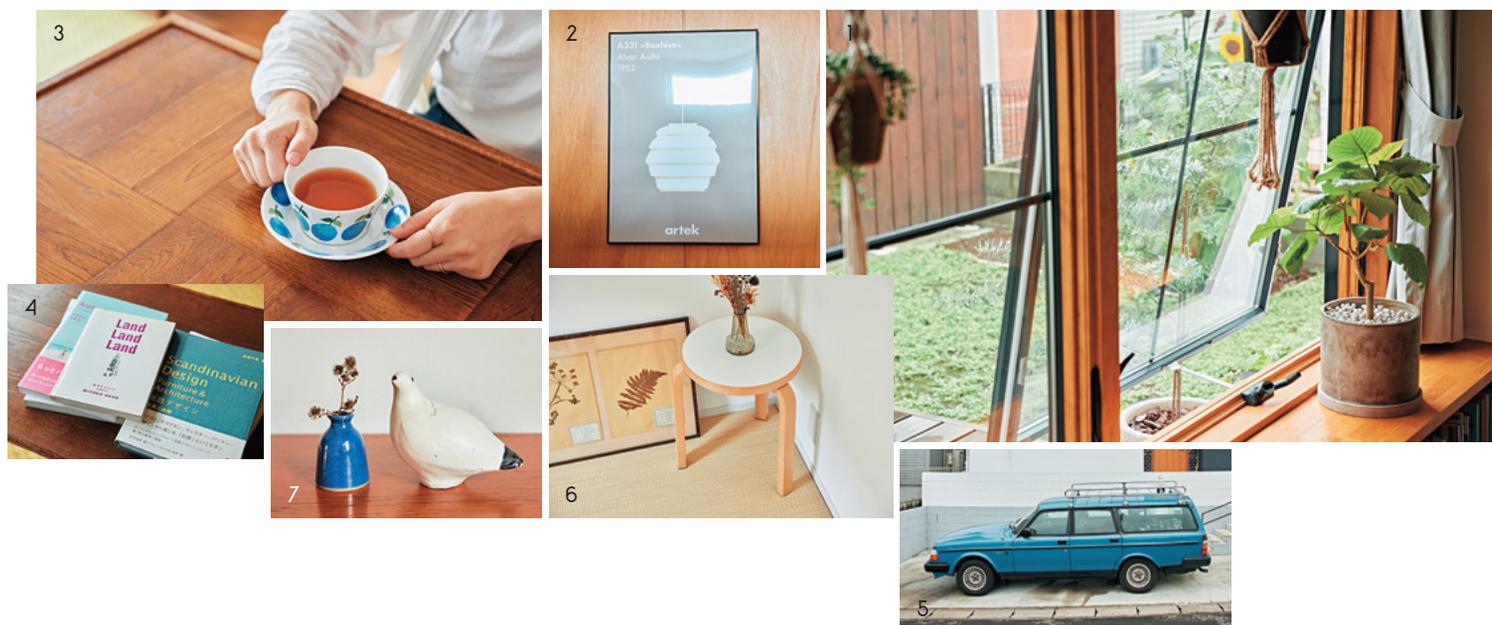
中村美樹さん

04

ヒュッゲのような 心地いい時間をすごせる家

結婚前からよく訪れていた北欧
そのころから集めてきた雑貨が似合う
スカンジナビアスタイルの家を建てました
週末は北欧デザインのカップでひと息ついて
ガイドブックを見ながら旅の思い出にひとり
家族で北欧のゆったりした時間を楽します

Life Style



1 アアルト邸をイメージして取り付け「アンダーセン」の木製窓。風通しがよく、植物も居心地がよさそう。2 アアルト作の照明ペンダントビーハイブのポスターを玄関に。3 旅先では器や雑貨を買うのもお楽しみ。「グスタフスベリ」のカップ&ソーサーはスウェーデンで購入。4 旅行記は行く前はもちろん、行った後に読んでも楽しくて。5 愛車は北欧のメーカー「VOLVO」の240エステート。30年ほど前のヴィンテージカーで、クラシックなデザインが好きです。6 フィンランドで買ってきた、アアルトの不朽の名作スツール60。シンプルなのに、存在感があり、飾り台としても重宝します。7 ブルーの一輪挿しはスウェーデンの博物館で、鳥の置き物はフィンランドのリサイクルショップで購入したもの。

旅好きで、独身のころは長い休みには決まって海外に出かけていた私。今まで行った国のなかで特に心に残っているのは北欧です。フィンランドにひとり旅をしたときに訪れた建築家アルヴァ・アアルトの自邸があまりに素敵で、大きな腰窓には植物が並び、窓の外には緑豊かな庭が広がっていました。そんな窓辺を再現したわが家では、旅で手に入れたカップにお茶を注ぎ、旅行記を読んで思い出を振り返る……。そんなゆったりとした時間をすごしています。

2 8



大きな木製窓の下には
本棚を造作。腰かけて
ベンチとしても使える
ので、お客さまが来
たときに重宝します。



Housing

Dining Room

カウンターの面材

「バシフィックファニチャーサービスのOPERATION B TABLE。ナラ材の寄せ木の天板にひかれて選びました。

ダイニングテーブル

●●材を使った面材には、自然塗料リボスと「HUGHOM E」のオリジナル塗料を混ぜて調色したもので着色。

北欧ブランドの照明やチェアに合うよう
キッチンカウンターの壁や床は
落ち着いた色合いで合わせました

アアルト邸を訪れてからは、木のぬくもりあふれる家やっぱいいちばんだと思って思うようになった。特に心に残っていた木枠の腰窓を再現してほしいくて、「HUGHOM E」に家づくりを依頼しました。私たちの思いをくみ取ってくれて、スウェーデン語で「ちょうどよい」という意味の「LAGOM」をコンセプトにした家を提案してくれました。

リビングの木製窓をはじめ、玄関の壁やドアなど、あちこちに木をふんだんに生かしたデザインに。床には秋田杉の無垢材を張り、家具も天然木でできたものや、北欧のヴィンテージでそろえ、クラシックさを感じさせる深みのある色合いで統一しました。

おかげで、玄関を開けると木の香りが漂い、足触りの心地いいリビングでは子どもたちが裸足で駆けまわる姿を眺めるのが日常です。暮らしはじめてまだ1年半ですが、少しずつ木の色も深まっているよう。家が成長しているような感じがして、この先もこの家での暮らしが楽しみです。

Kitchen

「ウッドワン」のバイン材のキッチン。解放感を感じたくて、コンロ前は造作のガラス窓にしました。

ガスコンロ

ステンレスと鋳物の五徳が気に入り、「ハーマン」のブラス・ドゥを採用。点火つまみもカッコよくて。

食器洗い乾燥機

ステンレス製のガスコンロと相性のよい「ミーレ」に。5人家族だから、大容量なものも助かっています。

バックカウンター

バイン材とシナ材を使って造作。オーブンレンジやトースターを乗せてもLDから見えにくい高さに設定。

「家具をふやす楽しみも残したい」という夫の意見で収納は少なめに。新しい家具をお迎えするのも楽しみ。



Japanese Room

い草のいい香りがする和室は、子どものお昼寝に活躍しています。いずれはこたつを置く予定です。

3 1

Parts

ミッドセンチュリー風の建具や照明を取り入れて

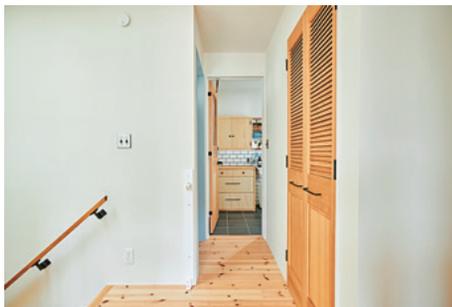


1 「●●●●●」で購入した、デンマークの古い照明。独特のフォルムにひと目ぼれし、いちばん目立つダイニングに。2 玄関からリビングに入るドアはスプルース材で造作した「HUGHOME」オリジナル。



Sanitary

階段を上った正面のルーバー扉は納戸。左の奥がサニタリーで、手間に子どもたちの部屋を配しました。



床のタイル

「平田タイル」のセラミックタイル XT-216V-3030。クールな色合いで、空間を引き締めてくれます。

脱衣所としても広く使え、子ども3人と一緒でも広々。お風呂中に「トイレ」と言われてもすぐに連れていきます。

海外ホテルで見た 非日常を味わえる空間にしたくて サニタリーの一角にトイレを設けました

もうひとつかなえたかったのが、いつか行った海外のホテルみたいにトイレとサニタリーを同じ空間にすること。以前住んでいた家の脱衣場は狭くて子ども3人のお風呂もひと苦労だったけど、今は広々としてストレスもありません。サニタリーとトイレの掃除をひとまとめでできるのも、助かっています。

それに、サニタリーを2階に設けたことで、洗濯物干しのベランダとの行き来が短い距離ですむのもうれしい点。WICがベランダの隣にあるので、洗って取り入れるまでが2階で完結するんです。

リビングの大きな窓、ホテルライクなサニタリーなど、心地よい空間に囲まれているからか、朝起きるのが楽しみに。休日は家族でのんびり朝ごはんを食べ、それぞれが好きなことを過ごすのがお決まりのパターンです。私は、庭でガーデニングをするのにハマり中。何気ない暮らしのワンシーンでも、この家だといっそう楽しく感じられて、毎日が幸せです。

MY HOME DATA



竣工年月 / 2020年3月

マイホーム取得年齢 / 夫36歳、妻38歳

取得時の家族構成 / 夫婦+子ども3人

建物価格 / 2860万円

延べ床面積 / 103.23㎡ (31.22坪)
(1階 / 51.87㎡ 2階 / 51.34㎡)

構造・工法 / 2階建て(木造軸組工法)

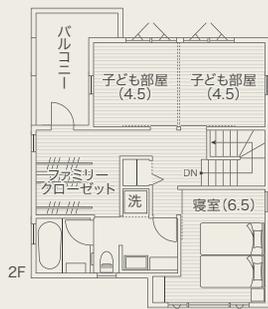
施工 / HUGHOME

坪単価 / 約90万円

☎ 048-299-2055

埼玉県川口市木曾呂976

<https://hughome.net/>



※ ()内の数字は、量数です。

3 3

Entrance



壁のタイル

「聖和セラミックス」のランドマークLM-11/B Sky Gray。濃淡のあるニュアンスカラーが、シックでクールな空間に。

鏡

ネットで購入した、もくふるウォールミラー。シンプルな丸いミラーがよくて。木枠の色が玄関にぴったり。



靴箱

モルタル仕上げ。カッコいい雰囲気が靴箱ともよくなじみます。がしがし水洗いしやすいのもいいところです。

たたき

シナ材を使った造作の靴箱。スチール製ロッカーのようなデザインで、カッコよさと木のぬくもりを感じます。

1玄関も木のぬくもりを感じるデザインに。玄関奥の左には、帰宅してすぐ手が洗えるように手洗い場を設けました。右にはトイレを配置。2手洗い場は階段下のデッドスペースを活用。シンクは「TOTO」のSK6。

Exterior

北欧の
ヴィンテージカーが似合う
シンプルなデザインに

モダンでクールな四角いデザインに。ハケ跡を生かした表所のある塗り壁のおかげで、ぬくもりも感じます。

外壁材

「イケダコーポレーション」のスイス漆喰。真っ白で清潔感のある色合いで汚れにも強いのが魅力です。

2階の窓

わが家の窓はすべて「アンダーセン」の木製窓。デザイン性はもちろん、断熱性・機密性にもすぐれています。

